

Contract/Function 設計書

Scalar IST v2.00

深津 航

Version 2.00 - 2020/06/30

Contents

Asset / Table	12
同意文書アセット	12
同意文書の構造	12
同意文書間の関係性	14
同意文書に対する権限	14
同意文書アセットの構造	14
同意文書テーブルの構造	16
同意アセット	18
同意の構造	18
同意に対する権限	19
同意アセットの構造	20
同意テーブル	22
利用目的アセット	24
利用目的の構造	24
利用目的アセットの構造	25
利用目的同意文書テーブルの構造	26
同意文書に対する利用目的の関係性	27
利用目的に対する権限	27
データセットスキーマアセット	27
データセットスキーマの構造	27
データセットスキーマアセットの構造	28
データセットスキーマテーブルの構造	29
同意文書に対するデータセットスキーマの関係性	30
データセットスキーマに対する権限	30
第三者提供先アセット	30
第三者提供先の構造	30

第三者提供先アセットの構造	31
第三者提供先テーブルの構造	32
同意文書に対する第三者提供先の関係性	33
第三者提供先に対する権限	33
便益アセット	33
便益の構造	33
便益アセットの構造	34
便益テーブルの構造	35
同意文書に対する便益の関係性	35
便益に対する権限	36
利用期限アセット	36
利用期限の構造	36
利用期限アセットの構造	37
利用期限テーブルの構造	38
同意文書に対する利用期限の関係性	39
利用期限に対する権限	39
個人情報取扱事業者アセット	39
個人情報取扱事業者の構造	39
個人情報取扱事業者のアセット構造	40
個人情報取扱事業者のテーブル構造	41
組織のテーブル構造	42
個人情報取扱事業者に対するその他の項目との関係性	42
個人情報取扱事業者に対する権限	42
ユーザープロファイルアセット	43
ユーザープロファイルの構造	43
ユーザープロファイルアセットの構造	43
ユーザープロファイルテーブルの構造	44

ユーザープロフィールに対する利用目的の関係性	44
ユーザープロフィールに対する権限	44
Contract / Function	45
同意文書（Consent Statement）	45
同意文書の登録（Contract/Function）	46
権限	46
アセット	46
テーブル	46
Contract Properties	46
Contract Argument	47
Function Argument	48
Return	48
同意文書の修正（Contract/Function）	49
権限	49
アセット	49
テーブル	49
Contract Properties	49
Contract Argument	50
Function Argument	51
Return	51
同意文書の改訂（Contract）	52
権限	52
アセット	52
テーブル	52
Contract Properties	52
Contract Argument	53
Function Argument	54

Return	54
同意文書の公開 (Contract/Function)	55
権限	55
アセット	55
テーブル	55
Contract Properties	55
Contract Argument	56
Function Argument	56
Return	56
同意文書の参照 (Contract/Function)	56
権限	56
アセット	56
テーブル	57
Contract Properties	57
Contract Argument	57
Function Argument	57
Return	57
同意 (Consent)	58
同意記録の更新	58
権限	58
アセット	58
テーブル	58
Contract Properties	58
Contract Argument	59
Function Argument	61
Return	61
利用目的 (Purpose)	61

利用目的の登録	61
権限	62
アセット	62
テーブル	62
Contract Properties	62
Contract Argument	63
Function Argument	63
Return	63
利用目的の活性状態を更新	64
権限	64
アセット	64
テーブル	64
Contract Properties	64
Contract Argument	65
Function Argument	66
Return	66
データセットスキーマ (Dataset Schema)	66
データセットスキーマの登録	66
権限	66
アセット	66
テーブル	66
Contract Properties	67
Contract Argument	67
Function Argument	68
Return	68
データセットスキーマの活性状態を更新	69
権限	69

アセット	69
テーブル	69
Contract Properties	69
Contract Argument	70
Function Argument	70
Return	70
第三者提供先 (Third Party)	71
第三者提供先の登録	71
権限	71
アセット	71
テーブル	71
Contract Properties	71
Contract Argument	72
Function Argument	72
Return	72
第三者提供先の更新	73
権限	73
アセット	73
テーブル	73
Contract Properties	73
Contract Argument	74
Function Argument	74
Return	74
便益 (Benefit)	74
便益の登録	74
権限	75
アセット	75

テーブル	75
Contract Properties	75
Contract Argument	76
Function Argument	76
Return	76
便益の活性状態を更新	77
権限	77
アセット	77
テーブル	77
Contract Properties	77
Contract Argument	78
Function Argument	79
Return	79
利用期限（Data Retention Policy）	79
利用期限の登録	79
権限	79
アセット	79
テーブル	79
Contract Properties	80
Contract Argument	80
Function Argument	81
Return	81
利用期限の活性状態を更新	81
権限	82
アセット	82
テーブル	82
Contract Properties	82

Contract Argument	83
Function Argument	83
Return	83
事業者 (Company)	83
事業者の登録	83
権限	84
アセット	84
テーブル	84
Contract Properties	84
Contract Argument	85
Function Argument	85
Return	85
事業者の更新	85
権限	86
アセット	86
テーブル	86
Contract Properties	86
Contract Argument	86
Function Argument	87
Return	87
組織の追加、更新	87
権限	88
アセット	88
テーブル	88
Contract Properties	88
Contract Argument	88
Function Argument	89

Return	89
ユーザープロフィール (User Profile)	89
ユーザプロフィールの登録、更新	89
権限	90
アセット	90
テーブル	90
Contract Properties	90
Contract Argument	90
Function Argument	91
Return	91

Asset / Table

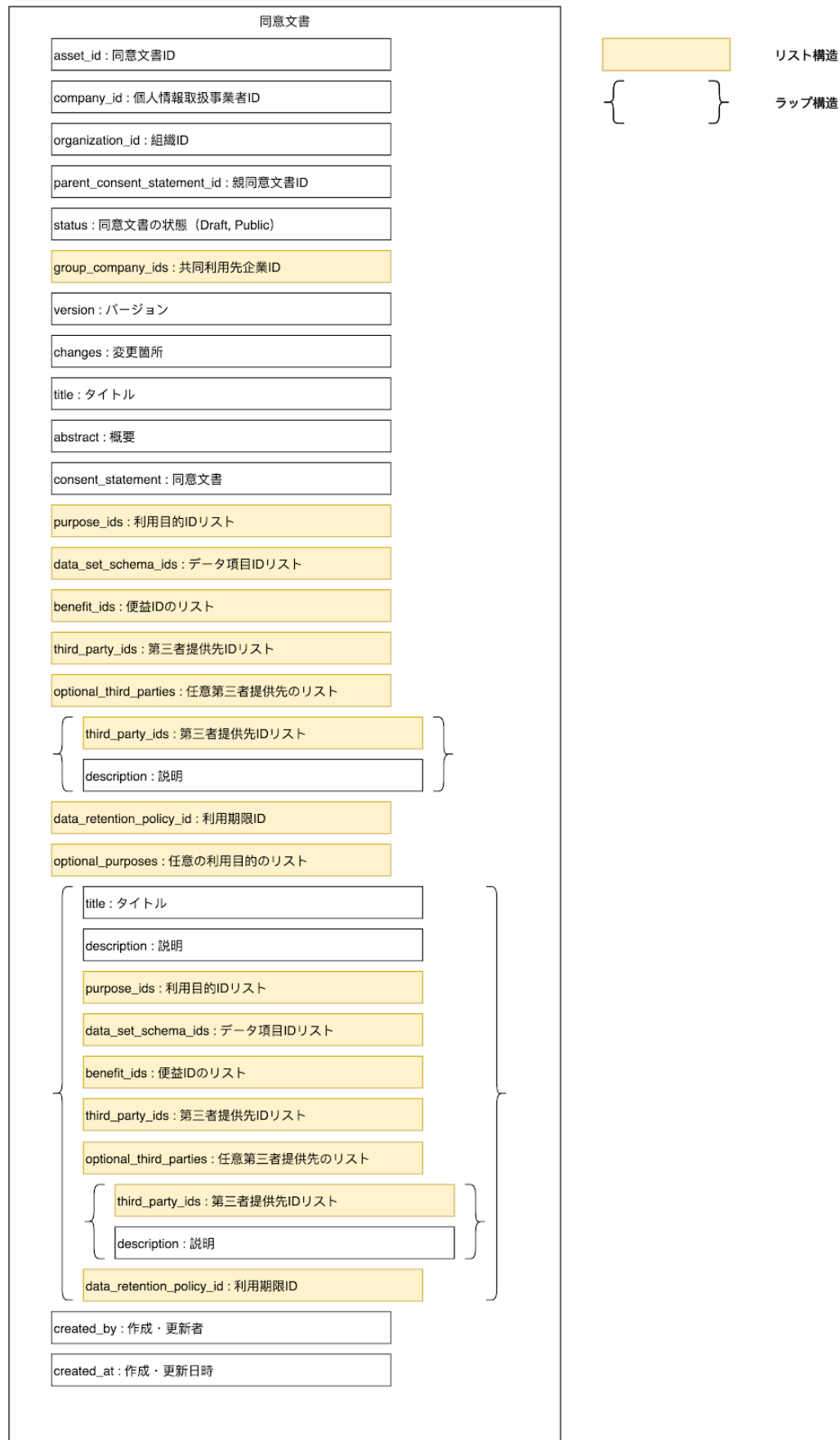
同意文書アセット

同意文書の構造

同意文書は、以下の要件を満たす構造を持つ。

- 同意文書のメタデータ
 - 同意文書のID
 - 同意文書を管理する個人情報取扱事業者、組織
 - 共同利用先事業者ID（委託先含む）
 - 同意文書のバージョン名（主に公開日付など）
 - 同意文書の状態（Draft, Public）
 - 作成者
 - 作成日時
- 同意文書の本文
 - タイトル
 - 概要
 - 本文
- 同意文書の変遷
 - 改定もとの同意文書ID
 - 前回からの変更内容
- マスター情報
 - 利用目的
 - データ項目
 - 必須第三者提供先
 - 任意に選択可能な第三者提供先
 - 利用期限
 - 任意に選択可能な利用目的
 - 利用目的
 - データ項目
 - 必須第三者提供先
 - 任意に選択可能な第三者提供先
 - 利用期限
 - データ主体に提供する便益

同意文書アセットは、下図のような構造を持つ。



同意文書間の関係性

同意文書は、以下のような関係性を持つ

- 修正を行った場合、既存の同意文書のIDを変えずに更新する（履歴の追加）
- 改訂を行った場合、既存の同意文書とは別の同意文書を登録し、元の文書をたどれる状態にする

同意文書同士は、グループ化することができる

- 複数の同意文書を1つのグループとして管理することができる
- 同意文書のグループは、同意文書が修正・改訂されても同じグループに属する

同意文書に対する権限

同意文書に対するアクセスは次のような形になる。

- 登録、修正、改訂が行えるのは、個人情報管理者のみ
- 登録、修正、改訂が行える同意文書は、自社の同意文書のみ
- ドラフトの同意文書は、自社のメンバーのみ参照可能である
- 公開された同意文書は、誰でも参照することができる

同意文書アセットの構造

項目名	データ型	必須	説明
asset_id	TEXT	Y	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none">▪ properties.asset_name▪ properties.asset_version▪ 組織ID▪ 登録時の"created_at"
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
parent_consent_statement_id	TEXT		改訂元の同意文書ID（asset_id）
group_company_ids	Array		共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID
version	TEXT	Y	バージョン番号、または公開日
status	TEXT		公開状態（"draft"もしくは"published"のどちらか）。デフォルトは、"draft" 同意文書のステータス
title	TEXT	Y	同意文書のタイトル

abstract	TEXT	Y	同意文書の概要
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID
consent_statement	TEXT	Y	同意文書の本文（Markdown or HTML）
optional_purposes	Object		任意同意対象の利用目的
title	TEXT		利用目的のタイトル
description	TEXT		利用目的の説明
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID

created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
------------	--------	---	-----------

同意文書テーブルの構造

テーブル名：consent_statment

項目名	データ型	KEY	説明
root_consent_statement_id	TEXT	PK	基底となる同意文書の同意文書ID
company_id	TEXT	C ↑ IDX	個人情報取事業者のドメイン名
organization_id	TEXT	C ↑ IDX	組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく
consent_statement_id	TEXT	C ↑ IDX	同意文書ID ※同意文書のアセットID
version	TEXT	C ↑	バージョン番号、または公開日
status	TEXT		文書の公開状態。デフォルトは、"Draft"
group_company_ids	TEXT	IDX	共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID
title	TEXT		同意文書のタイトル
abstract	TEXT		同意文書の概要
changes	TEXT		文書の更新理由
purpose_ids	TEXT		利用目的のIDリスト
data_set_schema_ids	TEXT		データセットスキーマのIDリスト
benefit_ids	TEXT		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		第三者提供先IDリスト
optional_third_parties	TEXT		
third_party_ids	TEXT		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
description	TEXT		任意同意の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ルールID
consent_statement	TEXT		同意文書（利用規約、プライバシーポリシーなど）。Markdown、もしくはHTML
optional_purposes	TEXT		任意の利用目的のJSON配列

title	TEXT		任意同意の利用目的のタイトル
description	TEXT		任意同意の利用目的の説明
purpose_ids	TEXT		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	TEXT		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	TEXT		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		必須同意のThird Partyアセットのasset_ids
optional_third_parties	TEXT		
third_party_ids	TEXT		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
description	TEXT		任意同意のThird Partyの説明
data_retention_policy_id	TEXT		Data Retention Policyアセットのasset_id
parent_consent_statement_id	TEXT	IDX	更新元となる同意文書の同意文書ID
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		このレコードの登録日時

同意アセット

生活者（データ主体）は、同意文書に対して、次のような同意ができる。

- 文書全体に対する同意・拒否
- 文書の中の必須な利用目的に対する任意同意可能な第三者提供先の選択
- 任意同意可能な利用目的の選択
 - 任意同意する利用目的に対する任意同意可能な第三者提供先の選択

同意文書が修正・改訂された場合、同意の状態は次のようになる

- 修正の場合は、通知のみ
- 改訂の場合は、通知と再同意が必要な状態への変更

同意文書の改訂によって、再同意が要求された場合、デフォルトの同意状態を取得できる。

- 前回、文書全体に同意していた場合は、デフォルトは全体に同意
- 前回、同意項目を選択していた場合、同意していた項目がデフォルトで同意
- 新たに追加・変更されたマスター情報をリストして提示できる

同意の構造

同意のアセットは、生活者（データ主体）がどのように同意・拒否したのかを記録するためのアセットである。

同意アセットは、下図のような構造を持つ。



同意に対する権限

同意に対するアクセスは次のような形になる。

- 登録、更新が行えるのは、同意情報のオーナーであるデータ主体のみ
- 同意情報は、誰でも参照することができる

同意アセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> properties.asset_name properties.asset_version 同意文書のアセットID データ主体の HolderID
consent_statement_id	TEXT		難読化された同意文書ID
consent_status	TEXT		同意文書への同意状態 ["approved", "rejected", "configured"] approved : 同意文書に含まれる全ての利用目的に同意している rejected : 同意文書に含まれる全ての利用目的を拒否している configured : 同意文書に含まれる利用目的の一部に同意している
consented_detail	Object		同意した任意利用目的の内容
group_company_ids	TEXT		共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID
purpose_ids	TEXT		難読化された利用目的IDのリスト
dataset_schema_ids	TEXT		難読化されたデータセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array(TEXT)		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	Array(TEXT)		必須同意のThird Partyアセットのasset_ids
optional_third_party_ids	Array(TEXT)		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
data_retention_policy	Object		データ保持期限に関する情報
nondeletion_purging	TEXT		使用終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
deletion_purging	TEXT		保持終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う

optional_purposes	TEXT		任意項目への同意状態JSON
purpose_ids	Array(TEXT)		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	Array(TEXT)		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	Array(TEXT)		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		必須同意のThird PartyのJSON
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird PartyのJSON
data_retention_policy	Object		データ保持期限に関する情報
nondeletion_purging	TEXT		使用終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
deletion_purging	TEXT		保持終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
rejected_detail	Object		拒否した任意利用目的の内容
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird PartyのJSON
optional_purposes	Object		任意項目への同意状態JSON
purpose_ids	Array(TEXT)		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	Array(TEXT)		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	Array(TEXT)		Benefitアセットのasset_ids

third_party_ids	TEXT		必須同意のThird PartyのJSON
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird PartyのJSON
created_by	TEXT		登録者であるデータ主体の HolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

同意テーブル

テーブル名 : consent

項目名	データ型	KEY	説明
data_subject_id	TEXT	PK	データ主体ID
updated_at	BIGINT	C↓	更新日時ミリ秒
consent_statement_id	TEXT	C↑ IDX	難読化された同意文書ID
consent_status	TEXT		同意文書への同意状態 ["approved", "rejected", "configured"] approved : 同意文書に含まれる全ての利用目的に同意している rejected : 同意文書に含まれる全ての利用目的を拒否している configured : 同意文書に含まれる利用目的の一部に同意している
consent_id	TEXT	IDX	同意ID "consent" + "-" + 難読化された同意文書ID + "-" + データ主体ID
consent_detail	Object		同意した任意利用目的の内容
group_company_ids	TEXT		共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID
purpose_ids	TEXT		難読化された利用目的IDのリスト
dataset_schema_ids	TEXT		難読化されたデータセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array(TEXT)		Benefitアセットのasset_ids

third_party_ids	Array(TEXT)		必須同意のThird Partyアセットのasset_ids
optional_third_party_ids	Array(TEXT)		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
data_retention_policy	Object		データ保持期限に関する情報
nondeletion_purging	TEXT		使用終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
deletion_purging	TEXT		保持終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
optional_purposes	Object		任意項目への同意状態JSON
purpose_ids	Array(TEXT)		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	Array(TEXT)		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	Array(TEXT)		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		必須同意のThird PartyのJSON
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird PartyのJSON
data_retention_policy	TEXT		データ保持期限に関する情報
rejected_detail	Object		拒否した任意利用目的の内容
optional_purposes	TEXT		任意項目への同意状態JSON
purpose_ids	Array(TEXT)		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	Array(TEXT)		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids

	EXT)		
benefit_ids	Array(T EXT)		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		必須同意のThird PartyのJSON
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird PartyのJSON
created_by	TEXT		登録者であるデータ主体の HolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

利用目的アセット

同意文書には、提供されるデータセットの利用目的を登録することができる。

利用目的の構造

利用目的は、以下の要件を満たす構造を持つ。

- 利用目的のメタデータ
 - 利用目的ID
 - 利用目的を管理する事業者、組織
 - カテゴリ定義
 - 名称
 - 説明文
 - 法的文書
 - 表示文書
 - 利用ガイド
 - その他の補足事項

利用目的アセットは、下図のような構造を持つ。

利用目的
asset_id : 同意文書ID
purpose_id : 利用目的ID
company_id : 個人情報取扱事業者ID
organization_id : 組織ID
category_of_purpose : 利用目的の分類
purpose_name : 名称
description : 説明文
legal_text : 法的文書
user_friendly_text : 表示文書
guidance : 利用ガイド
note : その他の補足事項
created_by : 作成・更新者
created_at : 作成・更新日時

利用目的アセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> properties.asset_name properties.asset_version 組織ID 登録時の"created_at"
purpose_id	TEXT		properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + 組織ID + "-" + created_at
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT		組織ID

category_of_purpose	TEXT		利用目的の分類 TCF v2.0 などの規格名は、ここに格納する
purpose_name	TEXT		利用目的名
description	TEXT		利用目的の説明
legal_text	TEXT		法的文書
user_friendly_text	TEXT		表示文書
guidance	TEXT		利用ガイド
note	TEXT		そのほかの補足事項
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

利用目的同意文書テーブルの構造

テーブル名 : purpose

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒
organization_id	TEXT	C ↑ IDX	組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく ※Indexでの検索時は、実行者のcompany_idでフィルタリングする
category_of_purpose	TEXT	IDX	利用目的の分類
purpose_name	TEXT		利用目的名
description	TEXT		利用目的の説明
legal_text	TEXT		法的文書
user_friendly_text	TEXT		表示文書
guidance	TEXT		利用ガイド
note	TEXT		そのほかの補足事項
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT		登録者のHolderID
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒

同意文書に対する利用目的の関係性

利用目的は、同意文書に対して以下の関係性を持つ。

- 利用目的は同意文書の任意項目である
- 同意文書に利用目的を複数登録することができる

利用目的に対する権限

利用目的に対するアクセスは次のようになる

- 登録が行えるのは、情報管理者、情報処理者のみ
- 利用目的の更新を行う事が出来るユーザーは、利用目的を保有する事業者、組織に所属しているユーザーのみ

データセットスキーマアセット

データセットスキーマの構造

データセットスキーマは、以下の要件を満たす構造を持つ。

- データセットスキーマのメタデータ
 - データセットスキーマID
 - データセットスキーマを管理する個人情報取扱事業者、組織
 - 名称
 - 説明文
 - 取扱区分
 - 種類
 - 分類
 - データセットに含まれる項目の定義
 - 変更履歴
 - 格納先情報の変更履歴
 - 活性/不活性の変更履歴
 - 登録者のID
 - 登録日時（ミリ秒）

データセットスキーマは下図のような構造を持つ

データセットスキーマ

asset_id : ハッシュ化されたデータセットスキーマID

data_set_schema_id : データセットスキーマID

company_id : 個人情報取扱事業者ID

organization_id : 組織ID

data_set_name : 名称

description : 説明文

category_of_data : 取扱区分

data_type : 種類

classification : 分類

data_set_schema : データセットに含まれる項目の定義

created_by : 作成・更新者

created_at : 作成・更新日時

リスト構造

データセットスキーマアセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> properties.asset_name properties.asset_version 組織ID 登録時の"created_at"
data_set_schema_id	TEXT		properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + 組織ID + "-" + 登録時の"created_at"
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT		組織ID
data_set_name	TEXT		データセット名
description	TEXT		データセットの説明
category_of_data	TEXT		データの取扱区分
data_type	TEXT		データの種類
classification	TEXT		データの分類
data_set_schema	TEXT		データセットに含まれる項目を定義したJSON Schema

changes	TEXT		以下の変更履歴 ・ data_location に対する変更 ・ Active/Inactive に対する変更
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

データセットスキーマテーブルの構造

テーブル名 : data_set_schema

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	事業者ID
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒
organization_id	TEXT	C ↑ IDX	組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく ※Indexでの検索時は、実行者のcompany_idでフィルタリングする
data_set_name	TEXT		データセットの名前
description	TEXT		データセットの説明
data_location	Object		データの格納先情報 ・ アクセスパス ・ 接続手段 ・ 認証手段 など
category_of_data	TEXT		データの取扱区分
data_type	TEXT		データの種類
classification	TEXT		データの分類
data_set_schema	TEXT		データセットに含まれる項目を定義したJSON Schema
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT		登録者のHolderID
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒

同意文書に対するデータセットスキーマの関係性

データセットスキーマは、同意文書に対して以下の関係性を持つ。

- データセットスキーマは同意文書の任意項目である
- 同意文書にデータセットスキーマを複数登録することができる

データセットスキーマに対する権限

データセットスキーマに対するアクセスは次のようになる

- 登録が行えるのは、情報管理者、情報処理者のみ
- データセットスキーマの更新を行う事が出来るユーザーは、データセットスキーマを保有する事業者、組織に所属しているユーザーのみ

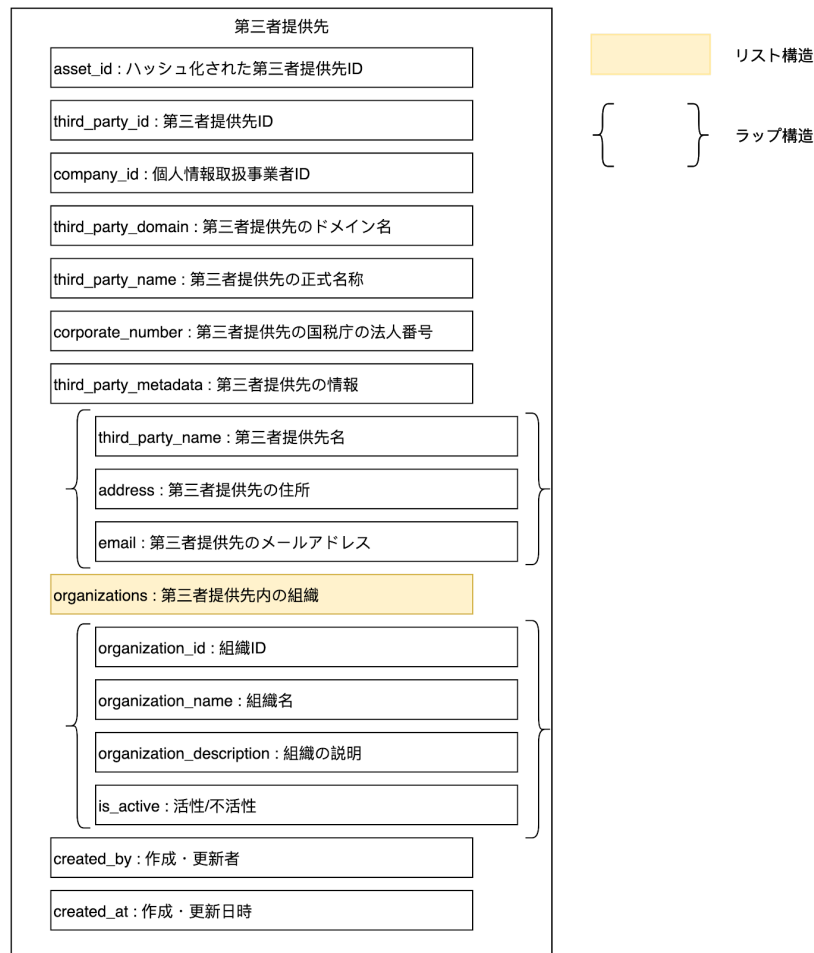
第三者提供先アセット

第三者提供先の構造

第三者提供先は、以下の要件を満たす構造を持つ。

- 第三者提供先のメタデータ
 - 第三者提供先ID
 - 個人情報取扱事業者のドメイン名、組織
 - 第三者提供先のドメイン名
 - 第三者提供先の正式名称
 - 第三者提供先の国税庁の法人番号（オプショナル）
 - その他の第三者提供先の情報
 - 第三者提供先の内の組織
 - 組織ID
 - 組織名
 - 組織の説明
 - 活性/非活性
 - 登録日時（ミリ秒）

第三者提供先は下図のような構造を持つ



第三者提供先アセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> properties.asset_name properties.asset_version 個人情報取扱事業者ID（個人情報取扱事業者のドメイン） 第三者提供先のドメイン名
third_party_id	TEXT		properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + 個人情報取扱事業者のドメイン + "-" + 第三者提供先のドメイン名
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者のドメイン名
third_party_domain	TEXT		第三者提供先のドメイン名
third_party_name	TEXT		第三者提供先の正式名称

corporate_number	TEXT		第三者提供先の国税庁の法人番号
third_party_metadata	Object		第三者提供先の情報
third_party_name	TEXT		第三者提供先の正式名称
address	TEXT		第三者提供先の住所
email	TEXT		第三者提供先のメールアドレス
organizations	Object		第三者提供先内の組織。JSON Object構造を繰り返す。
organization_id	TEXT		組織ID
organization_name	TEXT		組織名
organization_description	TEXT		組織の説明
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

第三者提供先テーブルの構造

テーブル名 : third_party

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒
third_party_domain	TEXT	C ↑	提供先のドメイン名
third_party_name	TEXT		第三者提供先の正式名称
corporate_number	TEXT		第三者提供先の国税庁の法人番号
third_party_metadata	Object		第三者提供先の情報
third_party_name	TEXT		第三者提供先の正式名称
address	TEXT		第三者提供先の住所

email	TEXT		第三者提供先のメールアドレス
organizations	Object		第三者提供先内の組織。JSON Object構造を繰り返す。
organization_id	TEXT		組織ID
organization_name	TEXT		組織名
organization_description	TEXT		組織の説明
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT		登録者のHolderID
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒

同意文書に対する第三者提供先の関係性

第三者提供先は、同意文書に対して以下の関係性を持つ。

- 第三者提供先は同意文書の任意項目である
- 同意文書に第三者提供先を複数登録する事ができる

第三者提供先に対する権限

第三者提供先に対するアクセスは次のようになる

- 登録・更新が行えるのは、管理者のみ

便益アセット

便益の構造

便益は、以下の要件を満たす構造を持つ。

- 便益のメタデータ
 - 便益ID
 - 便益を管理する事業者、組織ID
 - 便益の分類
 - 便益名
 - 便益の説明
 - 便益の提供者

- 便益の提供時期
- 登録者のID
- 登録日時（ミリ秒）

便益は下図のような構造を持つ

便益

asset_id : ハッシュ化された便益ID

benefit_id : 便益ID

company_id : 個人情報取扱事業者ID

organization_id : 組織ID

category_of_benefit : 便益の分類

benefit_name : 便益名

description : 便益の説明

tern_of_provide : 便益の提供時期

created_by : 作成・更新者

created_at : 作成・更新日時

便益アセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> ▪ properties.asset_name ▪ properties.asset_version ▪ 組織ID ▪ 登録時の"created_at"
benefit_id	TEXT		properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + 組織ID + "-" + created_at
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者ID

organization_id	TEXT		組織ID
category_of_benefit	TEXT		便益の分類
benefit_name	TEXT		便益名
description	TEXT		便益の説明
provider	TEXT		便益の提供者
tern_of_provide	TEXT		便益の提供時期
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

便益テーブルの構造

テーブル名 : benefit

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒
organization_id	TEXT	C ↑ IDX	組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく ※Indexでの検索時は、実行者のcompany_idでフィルタリングする
category_of_benefit	TEXT	IDX	便益の分類
description	TEXT		利用期限の説明
provider	TEXT		便益の提供者
tern_of_provide	TEXT		便益の提供時期
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT	IDX	登録者のHolderID
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒

同意文書に対する便益の関係性

便益は、同意文書に対して以下の関係性を持つ。

- 便益は同意文書の任意項目である
- 同意文書に便益を複数登録することができる

便益に対する権限

便益に対するアクセスは次のようになる

- 登録が行えるのは、情報管理者、情報処理者のみ
- 便益の更新を行う事が出来るユーザーは、便益を保有する事業者、組織に所属しているユーザーのみ

利用期限アセット

利用期限の構造

利用期限は、以下の要件を満たす構造を持つ。

- 利用期限のメタデータ
 - 利用期限ID
 - 利用期限を管理する個人情報取扱事業者、組織ID
 - ポリシー名
 - ポリシーの種類（有期/不定）
 - 利用期間
 - 保持期間
 - 利用期限の説明
 - 登録者のID
 - 登録日時（ミリ秒）

利用期限は下図のような構造を持つ

利用期限

asset_id : ハッシュ化された利用期限ID

data_retention_policy_id : 利用期限ID

company_id : 個人情報取扱事業者ID

organization_id : 組織ID

policy_name : ポリシー名

policy_type : ポリシーの種類

length_of_use : 利用期間

length_of_retention : 保持期間

description : 説明文

created_by : 作成・更新者

created_at : 作成・更新日時

利用期限アセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> properties.asset_name properties.asset_version 個人情報取扱事業者ID 登録時の"created_at"
data_retention_policy_id	TEXT		properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + 事業者ID + "-" + 登録時の"created_at"
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT		組織ID
policy_name	TEXT		ポリシー名

policy_type	TEXT		ポリシーの種類 finite : 有期 / indefinite : 不定
length_of_use	TEXT		利用期間 数字のみの指定時は日数 (days) と判定し、その他のフォーマットはアプリケーションで判定する
length_of_retention	TEXT		保持期間 数字のみの指定時は日数 (days) と判定し、その他のフォーマットはアプリケーションで判定する
description	TEXT		利用期限の説明
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

利用期限テーブルの構造

テーブル名 : data_retention_policy

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒
policy_type	TEXT	C ↑	ポリシーの種類 finite : 有期 / indefinite : 無期限
organization_id	TEXT	C ↑ IDX	組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく ※Indexでの検索時は、実行者のcompany_idでフィルタリングする
policy_name	TEXT		ポリシー名
length_of_use	TEXT		利用期間 数字のみの指定時は日数 (days) と判定し、その他のフォーマットはアプリケーションで判定する
length_of_retention	TEXT		保持期間 数字のみの指定時は日数 (days) と判定し、その他のフォーマットはアプリケーションで判定する
description	TEXT		利用期限の説明
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT	IDX	登録者のHolderID

updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒
------------	--------	--	---------

同意文書に対する利用期限の関係性

利用期限は、同意文書に対して以下の関係性を持つ。

- 利用期限は同意文書の任意項目である
- 同意文書1つにつき利用期限を1つだけ登録することができる

利用期限に対する権限

利用期限に対するアクセスは次のようになる

- 登録が行えるのは、情報管理者、情報処理者のみ
- 利用期限の更新を行う事が出来るユーザーは、利用期限を保有する事業者、組織に所属しているユーザーのみ

個人情報取扱事業者アセット

ISTでは、同意文書、マスター情報を保有する事業者を登録する。

個人情報取扱事業者の構造

個人情報取扱事業者は、以下の要件を満たす構造を持つ。

- 個人情報取扱事業者のメタデータ
 - 事業者ID
- 個人情報取扱事業者の内容
 - ドメイン名
 - 正式名称
 - 国税庁の法人番号
 - 事業者の情報（構造は任意のJSON）

個人情報取扱事業者アセットは、下図のような構造を持つ。

事業者

asset_id : 同意文書ID

company_id : 個人情報取扱事業者ID

company_name : 事業者の正式名称

corporate_number : 国税庁の法人番号（オプショナル）

company_metadata : 事業者の情報

organizations : 事業者内の組織

created_by : 作成・更新者

created_at : 作成・更新日時

個人情報取扱事業者のアセット構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> properties.asset_name properties.asset_version 個人情報取扱事業者ID
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者のドメイン名
company_name	TEXT		個人情報取扱事業者の正式名称
corporate_number	TEXT		国税庁の法人番号
company_metadata	Object		個人情報取扱事業者の情報
address	TEXT		個人情報取扱事業者の住所
email	TEXT		個人情報取扱事業者のメールアドレス
organizations	Object		個人情報取扱事業者内の組織。JSON Object構造を繰り返し返す。 最初の登録時にAdmin組織が作られる

organization_id	TEXT		組織ID
organization_name	TEXT		組織名
organization_description	TEXT		組織の説明
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

個人情報取扱事業者のテーブル構造

テーブル名 : company

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID ※個人情報取扱事業者のドメイン名を使用する
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒
company_name	TEXT		個人情報取扱事業者の正式名称
corporate_number	TEXT		国税庁の法人番号（オプショナル）
company_metadata	Object		個人情報取扱事業者の情報
address	TEXT		個人情報取扱事業者の住所
email	TEXT		個人情報取扱事業者のメールアドレス
is_active	BOOLEAN		有効な個人情報取扱事業者であるかのフラグ false の場合は検索対象にならない default : true
created_by	TEXT		登録者のHolderID
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒

組織のテーブル構造

テーブル名 : organization

項目名	データ型	KEY	説明																
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID ※個人情報取扱事業者のドメイン名を使用する																
organization_id	TEXT	C ↑ IDX	組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく																
created_at	BIGINT	C ↓	登録日時ミリ秒																
organization_metadata	Object		個人情報取扱事業者内の組織情報。JSON形式で保持。																
<table border="1"> <tr> <td>organization_id</td><td>TEXT</td><td></td><td>組織ID</td></tr> <tr> <td>organization_name</td><td>TEXT</td><td></td><td>組織名</td></tr> <tr> <td>organization_description</td><td>TEXT</td><td></td><td>組織の説明</td></tr> <tr> <td>is_active</td><td>BOOLEAN</td><td></td><td>false の場合は検索対象にならない default : true</td></tr> </table>				organization_id	TEXT		組織ID	organization_name	TEXT		組織名	organization_description	TEXT		組織の説明	is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true
organization_id	TEXT		組織ID																
organization_name	TEXT		組織名																
organization_description	TEXT		組織の説明																
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true																
is_active	BOOLEAN		false の場合は検索対象にならない default : true																
created_by	TEXT		登録者のHolderID																
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒																

個人情報取扱事業者に対するその他の項目との関係性

個人情報取扱事業者とその他の項目は以下の関係性を持つ。

- 個人情報取扱事業者は、複数の組織を持つ
- 個人情報取扱事業者は、複数のユーザープロファイルを持つ
- 個人情報取扱事業者は、複数の同意文書を持つ
- 個人情報取扱事業者は複数のマスター項目を持つ
- 上記の項目は、事業者をまたいでアクセスすることができない

個人情報取扱事業者に対する権限

個人情報取扱事業者に対するアクセスは次のような形になる

- 登録が行えるのは、システム管理者（SysAdmin）とシステム運用者（SysOperator）のみ

- 更新が行えるのは、システム運用管理者（SysOperator）、個人情報取扱事業者の管理者（Admin）のみ

ユーザープロフィールアセット

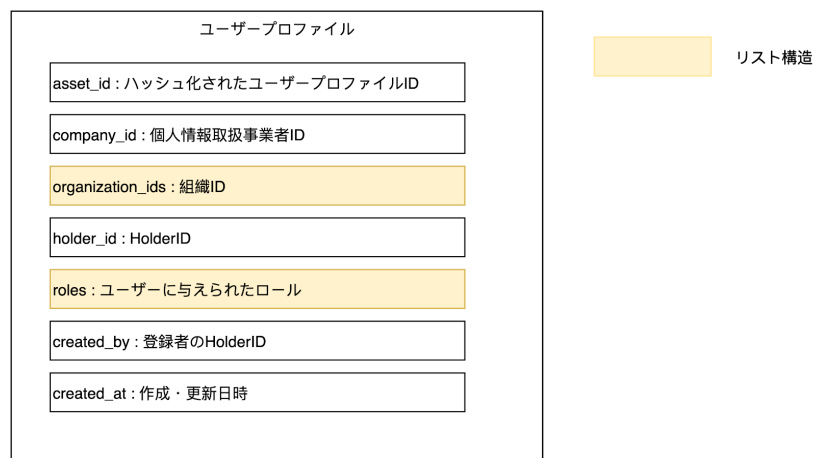
個人情報取扱事業者のユーザーが所属する組織、付与されたロールを管理する、ユーザープロフィールを登録する。

ユーザープロフィールの構造

ユーザープロフィールは以下の要件を満たす構造を持つ。

- ユーザープロフィールのメタデータ
 - ユーザープロフィールを管理する個人情報取扱
 - 所属する全ての組織
 - Holder ID
 - 付与されている全てのロール

ユーザープロフィールは、下図のような構造を持つ。



ユーザープロフィールアセットの構造

項目名	データ型	KEY	説明
asset_id	TEXT	PK	以下のIDを組み合わせ、難読化されたID <ul style="list-style-type: none"> ▪ properties.asset_name ▪ properties.asset_version ▪ 個人情報取扱事業者ID（個人情報取扱事業者のドメイン） ▪ Holder ID
company_id	TEXT		個人情報取扱事業者ID

organization_ids	TEXT		組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく
holder_id	TEXT		Holder ID
roles	TEXT		ユーザに与えられたロール
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒

ユーザープロフィールテーブルの構造

テーブル名 : user_profile

項目名	データ型	KEY	説明
company_id	TEXT	PK	個人情報取扱事業者ID
holder_id	TEXT	C ↑ IDX	ユーザのHolderID
organization_ids	TEXT		組織ID ※全体で一意になるIDを付与しておく
roles	TEXT		ユーザに与えられたロール
created_by	TEXT		登録者のHolderID
created_at	BIGINT		登録日時ミリ秒
updated_at	BIGINT		更新日時ミリ秒

ユーザープロフィールに対する利用目的の関係性

ユーザープロフィールは、以下の特性を持つ。

- 個人情報取扱事業者に所属するユーザーは、1つ以上のユーザープロフィールを持つ
- 他の個人情報取扱事業者のユーザープロフィールにはアクセスできない

ユーザープロフィールに対する権限

ユーザープロフィールに対するアクセスは次のような形になる

- 登録、更新が行えるのは、システム管理者、システム運用者、管理者のみ
- 参照が行えるユーザープロフィールは、自身のユーザープロフィールのみ

Contract / Function

同意文書 (Consent Statement)

同意文書は、利用目的アセット、データセット・スキーマ・アセット、利用期限アセット、第三者提供先アセット、便益アセット、同意文書アセットで構成され、以下に示す Contract / Function を用いて操作を行う。

- 同意文書のマスターに対する操作
 - 利用目的
 - 利用目的の登録 (Contract/Function)
 - 利用目的の修正 (Contract/Function)
 - 利用目的の参照 (Contract/Function)
 - 利用目的の利用停止・再開 (Contract/Function)
 - データセット・スキーマ
 - データセット・スキーマの登録 (Contract/Function)
 - データセット・スキーマの修正 (Contract/Function)
 - データセット・スキーマの参照 (Contract/Function)
 - データセット・スキーマの利用停止・再開 (Contract/Function)
 - 利用期限
 - 利用期限の登録 (Contract/Function)
 - 利用期限の修正 (Contract/Function)
 - 利用期限の参照 (Contract/Function)
 - 利用期限の利用停止・再開 (Contract/Function)
 - 第三者提供先
 - 第三者提供先の登録 (Contract/Function)
 - 第三者提供先の修正 (Contract/Function)
 - 第三者提供先の参照 (Contract/Function)
 - 第三者提供先の利用停止・再開 (Contract/Function)
 - 便益
 - 便益の登録 (Contract/Function)
 - 便益の修正 (Contract/Function)
 - 便益の参照 (Contract/Function)
 - 便益の利用停止・再開 (Contract/Function)
- 同意文書
 - 同意文書の登録 (Contract/Function)
 - 同意文書の修正 (Contract/Function)
 - 同意文書の改訂 (Contract/Function)
 - 同意文書の公開 (Contract/Function)

- 同意文書の参照 (Contract/Function)
- 同意文書の管理
 - 同意文書のグループ化 (Function)
 - 同意文書の系統取得 (親子関係、ルート) (Function)
 - 同意文書のアーカイブ (Contract)

同意文書の登録 (Contract/Function)

同意文書の登録を行う。登録が成功すると、登録された同意文書IDを返す。同意文書の登録に当たっては、事前に参照されるマスター情報が登録されている必要があるが、別のチェックロジックを実行してマスターの登録状態を確認する。

Contract Name	RegisterConsentStatement
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	RegisterConsentStatement
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller” (個人情報管理者) ロールを持つユーザーが実行できる。登録できる同意文書は、ユーザーが所属する “company_id” (個人情報取扱事業者ID) に対してのみ。

アセット

アセット名	操作内容
consent_statement	同意文書を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
consent_statement	検索用の同意文書のメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報

holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
group_company_ids	Array		共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID
version	TEXT	Y	バージョン番号、または公開日
status	TEXT		公開状態（"Draft"もしくは"Published"のどちらか）。デフォルトは、"Draft" 同意文書のステータス
title	TEXT	Y	同意文書のタイトル
abstract	TEXT	Y	同意文書の概要
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID
consent_statement	TEXT	Y	同意文書の本文（Markdown or HTML）
optional_purposes	Object		任意同意対象の利用目的

title	TEXT		利用目的のタイトル
description	TEXT		利用目的の説明
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された同意文書IDである “hashed_asset_id” が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の同意文書ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "UUID" + "-" + "文書番号")

同意文書の修正 (Contract/Function)

既存の同意文書に対して修正（再同意が不要な変更）を行う。修正が成功すると、修正された同意文書IDを返す。同意文書の修正に当たっては、事前に参照されるマスター情報が登録されている必要があるが、別のチェックロジックを実行してマスターの登録状態を確認する。

Contract Name	UpdateConsentStatementRevision
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpdateConsentStatementRevision
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）ロールを持つユーザが実行できる。修正できる同意文書は、ユーザが所属する“company_id”（個人情報取扱事業者ID）と“organization_id”（組織ID）に対して登録された同意文書のみ。

アセット

アセット名	操作内容
consent_statement	同意文書を修正する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
consent_statement	検索用の同意文書のメタデータを修正する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
consent_statement_id	TEXT	Y	更新対象の同意文書ID
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
group_company_ids	Array		共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID
version	TEXT	Y	バージョン番号、または公開日
status	TEXT		公開状態（"Draft"もしくは"Published"のどちらか）。デフォルトは、"Draft" 同意文書のステータス
title	TEXT	Y	同意文書のタイトル
abstract	TEXT	Y	同意文書の概要
changes	TEXT	Y	同意文書の修正内容
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID
consent_statement	TEXT	Y	同意文書の本文（Markdown or HTML）
optional_purposes	Object		任意同意対象の利用目的

title	TEXT		利用目的のタイトル
description	TEXT		利用目的の説明
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新された同意文書IDである “hashed_asset_id” が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の同意文書ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "UUID" + "-" + "文書番号")

同意文書の改訂 (Contract)

既存の同意文書に対して改訂（再同意が必要な変更）を行う。改訂が成功すると、既存の同意文書とは別の新規登録された同意文書IDを返す。同意文書の改訂に当たっては、事前に参照されるマスター情報が登録されている必要があるが、別の✓ロジックを実行してマスターの登録状態を確認する。

Contract Name	UpdateConsentStatementVersion
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpdateConsentStatementVersion
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）ロールを持つユーザが実行できる。修正できる同意文書は、ユーザが所属する“company_id”（個人情報取扱事業者ID）と“organization_id”（組織ID）に対して登録された同意文書のみ。

アセット

アセット名	操作内容
consent_statement	同意文書を修正する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
consent_statement	検索用の同意文書のメタデータを修正する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名

asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
---------------	------	--	-----------------------

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明								
parent_consent_statement_id	TEXT	Y	更新元となる同意文書の同意文書ID								
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID								
organization_id	TEXT	Y	組織ID								
group_company_ids	TEXT		共同利用先事業者ID, 委託先事業者ID								
version	TEXT	Y	バージョン番号、または公開日								
status	TEXT		同意文書の状態（"Draft"もしくは"Published"のどちらか）。デフォルトは、"Draft" 同意文書のステータス								
title	TEXT	Y	同意文書のタイトル								
abstract	TEXT	Y	同意文書の概要								
changes	TEXT	Y	同意文書の修正内容								
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト								
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト								
benefit_ids	Array		便益IDのリスト								
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト								
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先								
<table> <tr> <td>third_party_ids</td><td>Array</td><td></td><td>任意同意対象の第三者提供先IDのリスト</td></tr> <tr> <td>description</td><td>TEXT</td><td></td><td>任意同意対象の第三者提供先に対する説明</td></tr> </table>				third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト	description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト								
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明								
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID								
consent_statement	TEXT	Y	同意文書の本文（Markdown or HTML）								

optional_purposes	Object		任意同意対象の利用目的
title	TEXT		利用目的のタイトル
description	TEXT		利用目的の説明
purpose_ids	Array		利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array		データセットスキーマIDのリスト
benefit_ids	Array		便益IDのリスト
third_party_ids	Array		必須第三者提供先IDのリスト
optional_third_parties	Object		任意同意対象の第三者提供先
third_party_ids	Array		任意同意対象の第三者提供先IDのリスト
description	TEXT		任意同意対象の第三者提供先に対する説明
data_retention_policy_id	TEXT		利用期限ID
created_at	BIGINT	Y	改訂日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された同意文書IDである “hashed_asset_id” が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の同意文書ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "UUID" + "-" + "文書番号")

同意文書の公開 (Contract/Function)

既存の同意文書に対して、公開ステータスの更新を行う。公開ステータスの更新が成功すると、更新された同意文書IDを返す。

Contract Name	UpdateConsentStatementStatus
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpdateConsentStatementStatus
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）ロールを持つユーザが実行できる。公開ステータスの更新ができる同意文書は、ユーザが所属する“company_id”（個人情報取扱事業者ID）と“organization_id”（組織ID）に対して登録された同意文書のみ。

アセット

アセット名	操作内容
consent_statement	同意文書を修正する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
consent_statement	検索用の同意文書のメタデータを修正する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
consent_statement_id	TEXT	Y	同意文書ID
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
status	TEXT	Y	公開状態。 同意文書のステータス
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新したアセットのIDを返す。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	公開状態を変更したアセットのハッシュ化したIDを返す。

[同意文書の参照（Contract/Function）](#)

既存の同意文書の内容を取得する。

Contract Name	GetConsentStatement
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	n/a
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

誰でも実行が可能。

アセット

アセット名	操作内容
consent_statement	同意文書を参照する

テーブル

n/a

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
hashed_consent_statement_id	TEXT	Y	ハッシュ化した同意文書ID

Function Argument

n/a

Return

取得が成功すると、取得した同意文書を返す。

項目名	データ型	説明
consent_statement	TEXT	同意文書の本文（Markdown or HTML）
version	TEXT	バージョン番号、または公開日
changes	TEXT	変更内容
abstract	TEXT	同意文書の概要
purpose_ids	Array	利用目的IDのリスト
data_set_schema_ids	Array	データセットスキーマIDのリスト
third_party_ids	Array	必須第三者提供先IDのリスト

data_retention_policy_id	TEXT	利用期限ID
--------------------------	------	--------

同意 (Consent)

同意は、同意文書に記載されている利用目的、データセットスキーマ、第三者提供先に対して、同意した項目、拒否した項目、利用期限で構成され、同意記録の更新コントラクトで操作を行う。

同意記録の更新

同意文書に対する同意項目、拒否項目、利用期限を登録する。登録に成功すると同意IDを返す。

Contract Name	UpsertConsentStatus
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertConsentStatus
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

データ主体が実行出来る。

アセット

アセット名	操作内容
consent	同意を登録、更新する
consent_statement	同意の対象となる同意文書の存在を確認する

テーブル

アセット名	操作内容
consent	検索用の同意のメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報

			報
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
consent_statement_id	TEXT	Y	難読化された同意文書ID
consent_status	TEXT	Y	同意文書への同意状態 ["approved", "rejected", "configured"] approved : 同意文書に含まれる全ての利用目的に同意している rejected : 同意文書に含まれる全ての利用目的を拒否している configured : 同意文書に含まれる利用目的の一部に同意している
consented_detail			同意した任意利用目的の内容
group_company_ids	TEXT		共同利用先企業ID, 委託先企業ID
purpose_ids	TEXT		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
dataset_schema_ids	TEXT		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	TEXT		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		必須同意のThird Partyアセットのasset_ids
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
data_retention_policy	TEXT		Data Retention PolicyのJSON
nondeletion_purging	TEXT		使用終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
deletion_purging	TEXT		保持終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う

optional_purposes	TEXT		任意利用目的への同意内容JSON配列
purpose_ids	TEXT		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	TEXT		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	TEXT		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids			必須同意のThird Partyアセットのasset_ids
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
data_retention_policy	TEXT		Data Retention PolicyのJSON
nondeletion_purging	TEXT		使用終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
deletion_purging	TEXT		保持終了日 ※フォーマットはアプリケーションの仕様に従う
rejected_detail			拒否した任意利用目的の内容
optional_third_party_ids	Array(TEXT)		任意同意のThird Partyアセットのasset_ids
optional_purposes	TEXT		任意項目への同意状態JSON
purpose_ids	Array(TEXT)		必須同意のPurposeアセットのasset_ids
data_set_schema_ids	Array(TEXT)		必須同意のData Set Schemaアセットのasset_ids
benefit_ids	Array(TEXT)		Benefitアセットのasset_ids
third_party_ids	TEXT		必須同意のThird PartyのJSON
optional_third_party_ids	TEXT		任意同意のThird PartyのJSON

updated_at	BIGINT	Y	クライアントで取得したミリ秒単位の日時

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された同意IDである “hashed_asset_id” が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の同意ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "同意文書ID" + "データ主体ID")

利用目的（Purpose）

利用目的の登録

同意文書で同意を取得する際に提示するデータの利用目的を登録する。登録に成功すると利用目的IDを返す。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
purpose	利用目的を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
purpose	検索用の利用目的のメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["insert"]
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
category_of_purpose	TEXT	Y	利用目的の分類 TCF v2.0 などの規格名は、ここに格納する
purpose_name	TEXT	Y	利用目的名
description	TEXT	Y	利用目的の説明
legal_text	TEXT	Y	法的文書
user_friendly_text	TEXT	Y	表示文書
guidance	TEXT	Y	利用ガイド
note	TEXT	Y	そのほかの補足事項
is_active	boolean	Y	利用目的の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された利用目的IDである “hashed_asset_id” が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の利用目的ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "UUID" + "-" + "利用目的番号"

)
--	--	---

利用目的の活性状態を更新

事業者内で使用しなくなった利用目的を不活性化、または活性化する。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
purpose	利用目的の活性状態を更新する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
purpose	検索用の利用目的のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	γ	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	γ	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	γ	コントラクトが操作するアセット名

asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["update"]
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
description	TEXT	Y	説明
is_active	boolean	Y	利用目的の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新したアセットのハッシュ化したIDを返す。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	活性状態を更新したアセットID

データセットスキーマ (Dataset Schema)

データセットスキーマの登録

同意文書で同意を取得する際に提示するデータセットスキーマを登録する。登録に成功するとデータセットスキーマIDを返す。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
data_set_schema	利用目的を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
data_set_schema	検索用のデータセットスキーマのメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID

contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["insert"]
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
data_set_name	TEXT	Y	データセット名
description	TEXT	Y	データセットの説明
data_location	JSON	Y	データの格納先情報 ・アクセスパス ・接続手段 ・認証手段 など

category_of_data	Array	Y	データの取扱区分
data_type	Array	Y	データの種類
classification	Array	Y	データの分類
data_set_schema	JSON Schema	Y	データセットに含まれる項目を定義したJSON Schema
changes	TEXT	Y	以下の変更履歴 ・ data_location に対する変更 ・ Active/Inactive に対する変更
is_active	boolean	Y	データセットスキーマの有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録されたデータセットスキーマIDである “hashed_asset_id” が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式のデータセットスキーマID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "UUID" + "-" + "データセットスキーマ番号")

[データセットスキーマの活性状態を更新](#)

事業者内で使用しなくなったデータセットスキーマを不活性化、または活性化する。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster

Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
data_set_schema	不活性化する利用目的を更新する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
data_set_schema	検索用のデータセットスキーマのメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型

clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["update"]
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
description	TEXT	Y	データセットスキーマの説明
is_active	boolean	Y	データセットスキーマの有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新したアセットのハッシュ化したIDを返す。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	活性状態を更新したアセットID

第三者提供先（Third Party）

第三者提供先の登録

同意文書で同意を取得する際に提示する、データを提供する第三者を登録する。登録に成功すると第三者IDを返す。

Contract Name	RegisterThirdParty
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	RegisterThirdParty
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Admin”（管理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
third_party	第三者情報を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
third_party	検索用の第三者情報のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
company_id	TEXT	Y	事業者ID

third_party_domain	TEXT	Y	第三者提供先のドメイン名
third_party_name	TEXT	Y	第三者提供先の正式名称
corporate_number	TEXT		第三者提供先の国税庁の法人番号（オプション）
third_party_metadata	TEXT	Y	第三者提供先の情報
organizations	Array	Y	第三者提供先内の組織。JSON Object構造を繰り返す。
created_at	BIGINT	Y	

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された第三者提供先IDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式のデータセットスキーマID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version +"-" +"事業者ID"+"-" +"第三者ID")

第三者提供先の更新

同意文書で同意を取得する際に提示する、データを提供する第三者の情報を更新する。

Contract Name	UpdateThirdParty
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpdateThirdParty
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Admin”（管理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
third_party	第三者情報を更新する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
third_party	検索用の第三者情報のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolder ID
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
company_id	TEXT	Y	事業者ID
third_party_domain	TEXT	Y	第三者提供先のドメイン名
third_party_name	TEXT	Y	第三者提供先の正式名称
corporate_number	TEXT		第三者提供先の国税庁の法人番号（オプション）
third_party_metadata	JSON	Y	第三者提供先の情報

organizations	Array	Y	第三者提供先内の組織。JSON Object構造を繰り返す。
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新したアセットのハッシュ化したIDを返す。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	活性状態を更新したアセットID

便益（Benefit）

便益の登録

同意文書でデータ主体に対して提示するデータ主体に提供される便益を登録する。登録に成功すると便益IDを返す。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
benefit	便益を新規に追加する

user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する
--------------	-------------------

テーブル

アセット名	操作内容
benefit	検索用の便益のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法

			enum : ["insert"]
company_id	TEXT	Y	事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
category_of_benefit	TEXT	Y	便益の分類
benefit_name	TEXT	Y	便益名
description	TEXT	Y	便益の説明
provider	TEXT	Y	便益の提供者
time_of_provision	TEXT	Y	便益の提供時期
is_active	boolean	Y	便益の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された便益IDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の便益ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version +"-" +"UUID"+"-" +"便益番号")

便益の活性状態を更新

事業者内で使用しなくなったデータセットスキーマを不活性化、または活性化する。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)

Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
benefit	不活性化する利用目的を更新する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
benefit	検索用の利用目的のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名

partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["update"]
company_id	TEXT	Y	個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
description	TEXT	Y	便益の説明
is_active	boolean	Y	便益の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新したアセットのハッシュ化したIDを返す。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	活性状態を更新したアセットID

利用期限（Data Retention Policy）

利用期限の登録

同意文書で同意を取得する際に提示する利用期限を登録する。登録に成功すると、利用期限IDを返す。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
data_retention_policy	利用期限を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
data_retention_policy	検索用の利用期限のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	γ	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	γ	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	γ	コントラクトが操作するアセット名

asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン																
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報																
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報																
<table> <tr> <td>table_name</td><td>TEXT</td><td>Y</td><td>操作対象のテーブル名</td></tr> <tr> <td>partition_keys</td><td>Array(TEXT)</td><td>Y</td><td>PartitionKeyのKey名、データ型</td></tr> <tr> <td>clustering_keys</td><td>Array(TEXT)</td><td></td><td>Clustering KeyのKey名、データ型</td></tr> <tr> <td>columns</td><td>Array(TEXT)</td><td>Y</td><td>操作対象のTableの項目</td></tr> </table>				table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名	partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型	clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型	columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名																
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型																
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型																
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目																

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["insert"]
company_id	TEXT	Y	事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
policy_name	TEXT	Y	利用目的の分類 TCF v2.0 などの規格名は、ここに格納する
policy_type	TEXT	Y	利用目的名
length_of_use	TEXT	Y	利用期間
length_of_retention	TEXT	Y	保持期間
description	TEXT	Y	利用期限の説明
is_active	boolean	Y	利用期限の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された利用期限IDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式のデータセットスキーマID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "事業者ID" + "-" + "利用期限番号")

利用期限の活性状態を更新

同意文書で同意を取得する際に提示する利用期限を不活性化、または活性化する。

Contract Name	UpsertMaster
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertMaster
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

“Controller”（個人情報管理者）、“Processor”（情報処理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
data_retention_policy	利用期限を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
data_retention_policy	検索用の利用期限のメタデータを更新する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン
asset_schema	Object	Y	AssetのJSONスキーマ情報
table_schema	Object	Y	TableのJSONスキーマ情報
table_name	TEXT	Y	操作対象のテーブル名
partition_keys	Array(TEXT)	Y	PartitionKeyのKey名、データ型
clustering_keys	Array(TEXT)		Clustering KeyのKey名、データ型
columns	Array(TEXT)	Y	操作対象のTableの項目

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
action	TEXT	Y	コントラクトの実行方法 enum : ["update"]

company_id	TEXT	Y	事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
policy_type	TEXT	Y	利用目的名
description	TEXT	Y	利用期限の説明
is_active	boolean	Y	利用期限の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

更新が成功すると、更新したアセットのハッシュ化したIDを返す。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	活性状態を更新したアセットID

事業者（Company）

事業者の登録

ISTで使用する事業者を登録する。登録に成功すると、事業者IDを返す。

Contract Name	RegisterCompany
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	RegisterCompany RegisterOrganization
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

”SysAdmin”（システム管理者）と”SysOperator”（システム運用管理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
company	事業者を新規に追加する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
company	検索用の事業者のメタデータを追加する
organization	検索用の組織のメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
executor_company_id	TEXT	Y	コントラクト実行者の個人情報取扱事業者ID
company_id	TEXT	Y	登録する個人情報取扱事業者ID
company_name	TEXT	Y	事業者の正式名称

corporate_number	TEXT		国税庁の法人番号
company_metadata	TEXT	Y	事業者の情報
organization_id	TEXT	Y	組織ID
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、登録された事業者IDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の事業者ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "個人情報取扱事業者ID")

事業者の更新

既存の事業所の情報を更新する。更新が成功すると、更新された事業所IDを返す。更新可能な事業所の項目は、以下に示す項目である。

- 事業者の正式名称
- 国税庁の法人番号
- 事業者の情報

Contract Name	UpdateCompany
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpdateCompany
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

”SysAdmin”（システム管理者）と”SysOperator”（システム運用管理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
company	事業者を更新する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
company	検索用の事業者のメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
executor_company_id	TEXT	Y	コントラクト実行者の個人情報取扱事業者ID
company_id	TEXT	Y	登録する個人情報取扱事業者ID
company_name	TEXT	Y	事業者の正式名称
corporate_number	TEXT		国税庁の法人番号

company_metadata	TEXT	Y	事業者の情報
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、更新された事業者IDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の事業者ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "個人情報取扱事業者ID")

組織の追加、更新

既存の事業所に所属する組織の情報を追加、更新する。追加、更新が成功すると、追加、または更新された事業所IDを返す。更新可能な組織の項目は、以下に示す項目である。

- 組織の名称
- 組織の説明

Contract Name	UpsertOrganization
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertOrganization
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

"SysAdmin"（システム管理者）と"SysOperator"（システム運用管理者）ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
company	事業者を更新する
user_profile	実行者のロール、所属組織を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
company	検索用の事業者のメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するアセット名
asset_version	TEXT		コントラクトが操作するアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
company_id	TEXT	Y	登録する個人情報取扱事業者ID
organization_id	TEXT	Y	組織ID
organization_name	TEXT	Y	組織名
organization_description	TEXT	Y	組織の説明
is_active	boolean	Y	組織の有効状態
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
updated_at	BIGINT	Y	更新日時（ミリ秒）

Function Argument

n/a

Return

登録が成功すると、更新された事業者IDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式の事業者ID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version + "-" + "個人情報取扱事業者ID")

ユーザープロフィール (User Profile)

ユーザープロフィールの登録、更新

ユーザープロフィールの登録、更新を行う。登録が成功すると、登録、更新されたユーザープロフィールIDを返す。

Contract Name	UpsertUserProfile
Contract Argument	JSON Schema (see below)
Function Name	UpsertUserProfile
Function Argument	n/a
Return	hashed_asset_id

権限

"SysAdmin" (システム管理者) と "SysOperator" (システム運用管理者) と "Admin" (管理者) ロールを持つユーザーが実行できる。

アセット

アセット名	操作内容
user_profile	ユーザープロフィールを登録、更新する 実行者のロール、所属事業者を参照する

テーブル

アセット名	操作内容
user_profile	検索用のユーザープロファイルのメタデータを追加する

Contract Properties

項目名	データ型	必須	説明
holder_id	TEXT	Y	コントラクト登録者のHolderID
contract_argument_schema	Object	Y	Contract Argument で受け渡されるJSONスキーマ情報
company_asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するCompanyアセット名
company_asset_version	TEXT		コントラクトが操作するCompanyアセットのバージョン
user_profile_asset_name	TEXT	Y	コントラクトが操作するUser Profileアセット名
user_profile_asset_version	TEXT		コントラクトが操作するUser Profileアセットのバージョン

Contract Argument

項目名	データ型	必須	説明
executor_company_id	TEXT	Y	コントラクト実行者の個人情報取扱事業者ID
company_id	TEXT	Y	登録する個人情報取扱事業者ID
organization_ids	Array	Y	ユーザーが所属する組織IDの配列
roles	Array	Y	ユーザーに付与するロールの配列
holder_id	TEXT	Y	ユーザーのHolder ID
created_at	BIGINT	Y	作成日時（ミリ秒）
mode	TEXT	Y	ユーザープロファイルの登録方法

Function Argument

n/a

Return

登録、更新が成功すると、登録、更新されたユーザープロフィールIDである "hashed_asset_id" が返される。

項目名	データ型	説明
hashed_asset_id	TEXT	以下の形式のデータセットスキーマID。 Hashid(properties.asset_name + properties.asset_version +"-" +"事業者ID"+"-" +"Holder ID")